熊谷スマートシティ実行計画（熊谷スマートシティ推進協議会）

令和３年７月
（令和５年１２月更新）

熊谷市の課題解決に向けたスマートシティ戦略のコンセプトとして、市民目線でデータ利活用を推進し、まちのにぎわいと魅力を創出するとともに、市民にも来訪者にも優しいまち（やさしい未来発見都市 熊谷）を目指す。

目標

地域の快適性と持続性を担保し、市民参加とデータ活用による先進的なまちづくり

【暑さに対応したまち】：クマぶらの利用登録者数（増加数）等
【モビリティ】　　：Ｗｅｂアプリによるバス回数券購入者数増加 等
【スポーツ・健康】　：スポーツイベントスタンプラリー参加者数増加 等

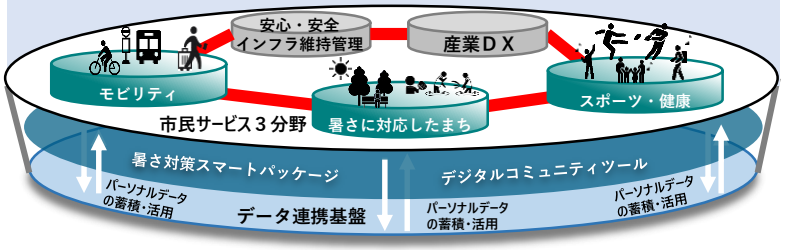
取組概要

「やさしい未来発見都市 熊谷」の実現に向けた取組の展開

目指す姿と取組目標

熊谷市の目指す姿「やさしい未来発見都市 熊谷」
～デジタルと人の力で社会を前に進めていく～
（目的）地域の快適性と持続性の担保
（実現方針）市民参加とデータ活用による先進的なまちづくり（スマートシティ）

重点的に取り組む５分野



２つの柱に対応した取組

暑さ対策スマートパッケージ
デジタルコミュニティツール

基盤

パーソナルデータの蓄積・活用
データ連携基盤
パーソナルデータの蓄積・活用
パーソナルデータの蓄積・活用

熊谷市の課題に対応するため、「暑さに対応したまち」「モビリティ」「スポーツ・健康」の３分野を中心とした取組を展開する。「デジタルコミュニティツール」の活用と、熊谷市が培った暑さ対策のノウハウを活かした「暑さ対策スマートパッケージ」の提供など、先進的技術を積極的に活用しながら、各領域のサービス展開を行い、熊谷市の目指すまちづくりの実現を目指す。
また、データ連携基盤の整備により各デジタルサービスを紐づけて利用できる仕組みを構築する。

将来像

人の力（市民参画等）とデジタルの力（データ活用等）により地域の持続性を確保する。

目的と方針

（目的）地域の快適性と持続性の担保
（方針）市民参加とデータ活用による先進的なまちづくり（スマートシティ）により実現を図る

取組の２つの柱

厳しい気候の中でも快適に過ごすことのできる環境を整備し、にぎわいと魅力を創出することで**持続可能なまちを実現**する

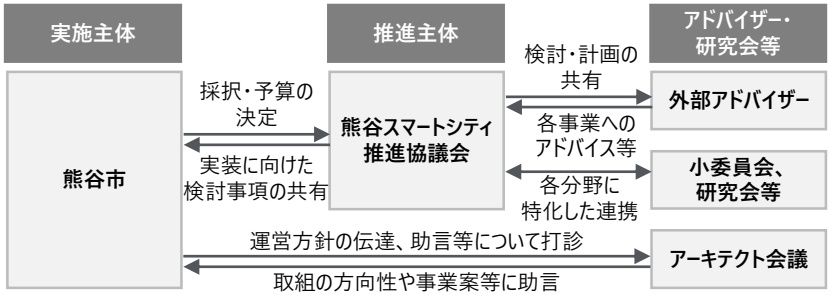
市民のまちづくりへの参加促進を図り、新技術やコモンデータを活用し**市民ニーズにマッチしたサービスを提供**する

目指すべきまちの姿（課題の解決された姿）

【安心・安全(インフラの維持管理)】	【モビリティ】	【暑さに対応したまち】	【スポーツ・健康】	【産業ＤＸ】
平時・有事においても安心・安全が担保されているまち	便利で快適な公共交通サービスが整備された回遊性の高いまち	暑さに負けない快適で活力のあるまち	市民だけでなく誰もが魅力を感じ訪れたくなるまち	産業が活性化し、人材が集い育つ持続可能なまち

体制

熊谷スマートシティの取組体制は、本市が抱える多様な課題解決に向けた実証的取組が可能な事業実施体制の構築を図るため、「官・民・学」が連携した「熊谷スマートシティ推進協議会」を中心に構成される。



スケジュール

主要３分野に関しては取組の一部について記載。このほかにも、地域電子マネーの導入、コミュニティバスのスマホ回数券の導入、人流データ分析によるまちづくり等の取組を実施する。

実施項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
データ連携基盤	基本方針検討・設計		システム構築・サービス検討	実装・運用	
都市ポータルアプリ「クマぶら」	サービス設計 システム構築	実装・運用（まちあるきアプリに特化）		運用継続（都市ポータルアプリとしての機能拡充）	

市民サービス３分野	実施項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
暑さに対応したまち	暑さ対策スマートパッケージの展開	ニーズ把握方針検討		サービス内容検討・実装準備 暑さシミュレーション作成	実装・運用	
モビリティ	AIオンデマンドを含めたMaaSの導入検討		ニーズ把握・サービス検討	MaaS部会、小委員会で検討	計画策定	実装・運用
スポーツ・健康	スポーツ観戦前後も楽しめるまちづくり		技術・サービス実証 アプリ構築	実装・運用		
	埼玉県の新たな健康管理アプリを活用した健康増進		県健康増進アプリ運用	技術・サービス実証・データ活用検討 次期アプリ開発(県)	新たな健康管理アプリの運用	